



「土佐・龍馬であい博」
イメージキャラクター
坂本龍馬

『NHK大河ドラマ「龍馬伝」の経済波及効果』



日本銀行高知支店キャラクター
おとめちゃん

1. 経済波及効果

- 「龍馬伝」放映による高知県経済への波及効果は234億円。

経済波及効果	直接効果	間接効果
234 億円	144 億円	90 億円

(注) 直接効果：放映による当県における観光客消費額の増加額。

間接効果：直接効果によって県内産業にもたらされる生産誘発額（1次波及効果）と、直接効果および1次波及効果によって増加した雇用者所得が消費に向けられることによって県内産業にもたらされる生産誘発額（2次波及効果）の合計額。

- 当県を訪れる県外観光客数は2008年に比べ37万人増加し、消費額についても74億円増加すると見込まれる。

▽県外観光客

	2008年（実績）	2010年（放映年）	2008年比
県外観光客数	3,053 千人	3,426 千人	+373 千人
日帰り客数	855 千人	1,052 千人	+197 千人
宿泊客数	2,198 千人	2,374 千人	+176 千人
県外観光客消費額	777 億円	851 億円	+74 億円

2. 試算方法(詳細別添)

- ベースとなる観光客数および観光客消費額については、当県および他県の観光統計、国土交通省の「宿泊旅行統計」、日本銀行高知支店の「宿泊客数統計」などを用いて推計。
- 2010年の観光客の増加については、当県を舞台とした大河ドラマ「功名が辻」が放映された2006年の当県や高知県の統計における宿泊客数、観光施設入込客数などの増加率(各+5%、+12%)をベースに、①本年から実施されている高速道路料金の引き下げの効果(日帰り客の増加)、②「土佐・龍馬であい博」の開催、高知を舞台とする映画の公開予定、四国を舞台としたドラマ(「坂の上の雲」<愛媛県>、「ウェルかめ」<徳島県>)の放映などによる四国域内観光の相乗効果を上乘せして算出(上乘せ率は+3%とした)。
- 観光客の一人当たり消費額は不変と想定。



日本銀行高知支店キャラクター
ゆ～ず

3. 今後の展望

- 本大河ドラマの放映をきっかけとして、県外観光客の消費額増加や滞在期間長期化に結びつくような諸施策を官民一体となって強力に推進していくことにより、本試算以上の経済波及効果を生み出すことも可能である。
 - 例えば、観光客の一人当たりの土産代が500円増加しただけでも、60億円の経済波及効果が新たに生み出される。観光客のニーズにマッチした新商品・サービスの開発・販売が重要。
 - この点、「花・人・土佐であい博」(2008年)の経験を活かした「土佐・龍馬であい博」が県全域で予定されているほか、観光コースや関連施設の充実、二次交通の整備、土産物や食事の充実、旅行情報発信力の強化など、「龍馬伝」関連に限定されない中長期的な観点からの施策も着実に進められてきている。現在、すでにプレイベント等が積極的に実施されつつあることも合わせ、県内の受入れ体制は「功名が辻」当時以上に強化されていると考えられるが、来年にかけてさらに実効ある対策を講じていくことが期待される。

○ 本大河ドラマの放映は、当県の観光振興を図る上で、四国島内をはじめとする他県と連携できる千載一遇の機会である。当県の魅力や観光資源をさらに磨き、放映による効果を中期的な観光振興につなげていくことが期待される。

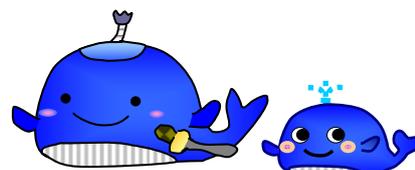
—— 功名が辻の翌年は宿泊客数、観光施設入込客数の反動減がみられた。「龍馬伝」をきっかけに来訪する観光客に対し、高知の魅力を余すところなく伝え、リピーターを増やせるかどうか大きな課題となる。

▽高知県の宿泊客数および入込客数の推移 (前年比、%)

	2003年度	2004年度	2005年度	2006年度	2007年度	2008年度	2009/4 ~8月
宿泊客数	▲ 3.0	▲ 4.6	+ 4.2	+ 4.8	▲ 7.3	+ 0.3	▲ 1.8
入込客数	▲ 1.2	▲ 8.2	+ 0.5	+ 11.4	▲ 11.8	+ 7.0	+ 4.8

(出所) 宿泊客数：日本銀行高知支店「宿泊客数統計」
入込客数：高知県「高知県観光施設等入込状況」

以 上



日本銀行高知支店キャラクター
りょうまくん、こりょうまくん



「土佐・龍馬であい博」イメージキャラクター

経済波及効果試算方法

1. 経済波及効果試算にあたって

- 「龍馬伝」の放映は、短期的な経済波及効果のみに止まらず、当県の観光振興などを通じた中長期的な経済波及効果ももたらすと考えられるが、本試算では、あくまで短期的な経済波及効果が1年間で全て表れたものとして試算を行った。なお、直接効果によりもたらされる間接効果（1次波及効果+2次波及効果）については、平成12年高知県産業連関表を用いて算出した。

2. 経済波及効果試算の概念

- 経済波及効果試算の概念は下表のとおり。

▽経済波及効果の概念

	算出方法
経済波及効果	直接効果+間接効果
直接効果	(県外・日帰り観光客の増加数×同1人当たり県内消費額) + (県外・宿泊観光客の増加数×同1人当たり県内消費額) + (県内・日帰り観光客の増加数×同1人当たり県内消費額) + (県内・宿泊観光客の増加数×同1人当たり県内消費額)
間接効果	1次波及効果+2次波及効果
1次波及効果	直接効果×1次波及係数
2次波及効果	直接効果×2次波及係数

—— なお、1次波及係数および2次波及係数については、平成12年高知県産業連関表から所与である。

3. 試算の前提値

- 観光客1人当たり県内消費額については、「高知県県外観光客入込調査」および入手が容易な他県（宮城県、静岡県、鳥取県）のデータをもとに、下表のとおり推計した。

▽観光客の1人当たり県内消費額 (円)

		宿泊費	交通費	飲食費	土産代	その他	合計
県外	日帰り		2,980	3,228	2,254	727	9,189
	宿泊	10,982	7,313	7,753	3,694	2,044	31,786
県内	日帰り		814	2,151	1,246	667	4,878
	宿泊	8,295	2,747	5,345	2,335	1,370	20,092

▽観光客の1人当たり県内消費額の推計方法

		推計方法
県外	日帰り	「高知県県外観光客入込調査」における平成20年の県外観光客1人当たり県内消費額をもとに、県外日帰り・宿泊観光客割合および、他県の属性別県内消費額のウェイトを勘案して推計。
	宿泊	
県内	日帰り	推計した県外日帰り・宿泊観光客の消費額をもとに、他県の属性別県内消費額の費目別ウェイトを勘案して推計。
	宿泊	

- 観光客数については、「高知県県外観光客入込調査」および他県（宮城県、静岡県、鳥取県）のデータを用いて下表のとおり推計した。

▽観光客数 (千人)

		2008年
県外	日帰り	855
	宿泊	2,198
県内	日帰り	5,652
	宿泊	376

▽観光客数の推計方法

		推計方法
県外	日帰り	「高知県県外観光客入込調査」における平成20年の県外観光客数をもとに、当県の県外日帰り・宿泊観光客割合から県外日帰り・宿泊観光客数を推計。
	宿泊	
県内	日帰り	県内宿泊観光客数をもとに、他県の県内日帰り・宿泊観光客割合を用いて県外日帰り観光客数を推計。
	宿泊	県外宿泊観光客数をもとに、国土交通省「宿泊旅行統計」から算出した県内・外宿泊観光客割合を用いて県内宿泊観光客数を推計。

- 観光客の増加数については、最近のNHK大河ドラマの舞台となった県のデータ、日本銀行高知支店が独自に集計している宿泊統計、「高知県観光施設等入込状況」などを用いて、①大河ドラマ放映による効果に、②「土佐・龍馬であい博」の開催や四国を舞台としたドラマの放映などによる相乗効果、③高速道路料金引き下げによる効果を加味して試算。

▽観光客の増加数 (千人)

		2008年 (実績)	2009年 (見込み)	2010年 (推計)	増加数		
						2008年比	2009年比
県外	日帰り	855	915	1,052	+197	+137	
	宿泊	2,198	2,198	2,374	+176	+176	
県内	日帰り	5,652	6,048	6,955	+1,303	+907	
	宿泊	376	376	406	+30	+30	

以上